

2024年11月11日

各位

三井住友信託銀行株式会社

GLPグループが運営するオープンエンド型私募物流ファンドへの出資参画について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、GLPグループであるGLPキャピタルパートナーズジャパン株式会社(東京都中央区、代表取締役社長:帖佐 義之)が運用する日本最大規模のオープンエンド型私募物流ファンド「GLP Japan Income Fund」(以下「本ファンド」)へインパクトエクイティ投資として出資しましたのでお知らせします。

本ファンドは、日本国内の高品質かつ汎用性の高い安定稼働中の先進的物流施設を投資対象とし、運用資産は8,900億円を超える国内最大級のオープンエンド型私募物流ファンドです。

日本 GLP グループは、都市の生活や経済活動を支える重要なインフラとしての、高機能かつ環境にも配慮した物流施設を提供しています。本ファンドで運用する先進的物流施設の開発、運営を通じて、事業展開している地域社会、および持続可能な社会の形成に貢献すべく社会課題解決に取り組んでいます。

当社は、政策投資株式の削減で生じる資本余力を活用し、2022年4月より、社会課題解決に向けた挑戦や取組を資金面からサポートすることを目的として、インパクトエクイティ投資を実施しています。本ファンドへの出資を通じて、日本国内の高品質な先進的物流施設の供給やDX・自動化等の導入による物流2024年問題の改善、物流施設の防災拠点への活用を通じた地域貢献・災害レジリエンス強化等の支援など、日本が直面する社会課題解決に貢献していきます。

以上